

しばたにこうじ

芝谷康二氏（オーハツ社長）が受賞

消防庁長官表彰・消防機器開発普及功労者



消防設備関係功労者等表彰式の会場



下から2段目右から3人目が芝谷 康二氏



消防機器開発普及功労者表彰の代表者と受賞者一同

左は消防庁長官表彰を授与された芝谷 康二氏

消防庁（林崎理長官）並びに一般財団法人日本消防設備安全センター（門山泰明理事長）が共催して、「令和元年度 消防設備関係功労者等表彰式」が11月1日午後、東京都港区元赤坂の明治記念館で開催されました。同日の表彰式では冒頭、消防庁長官の林崎 理（はやしざき・おさむ）氏が式辞を述べました。続いて、「消防庁長官表彰」「一般財団法人日本消防設備安全センター理事長表彰」がそれぞれ行われました。最後に、全国726消防本部の消防長で構成される全国消防長会会長の安藤 俊雄（あんどう・としお＝東京消防庁第27代消防総監＝）氏からの来賓祝辞を、全国消防長会事務総長の吉田 敏治（よしだ・としはる）氏が代読しました。

（式辞の全文9ページに）

消防庁長官表彰では、「消防機器開発普及功労者表彰」として防災用発電装置メーカーのオーハツ

株式会社（大阪府富田林市）の代表取締役社長の芝谷 康二（しばたに・こうじ）氏を含む30名が、林崎理消防庁長官より表彰状を授与されました。

また、「消防設備保守関係功労者表彰」の30名が、「優良消防用設備等表彰」として2件の施設の施主及び設計者ら13名が、林崎理消防庁長官より表彰状を授与されました。

日本消防設備安全センター理事長表彰では、「消防設備保守関係者表彰」97名、「消防用設備等の点検済表示制度推進優良事業所表彰」45名、「防火安全関係者表彰」9名に対し、門山泰明日本消防設備安全センター理事長より表彰状を授与されました。

引き続き、明治記念館内の別の会場で、一般財団法人日本消防設備安全センター並びに一般社団法人全国消防機器協会（橋爪毅会長）が共催して、「令和元年度 消防設備関係功労者等表彰祝賀会」が盛

大に開催されました。冒頭、主催者を代表して日本消防設備安全センターの門山泰明理事長は、「今後とも、ご臨席の皆様のご期待に添うよう努力してまいります。引き続き、ご指導の程よろしくお願い申

し上げます」と開会あいさつを述べました。祝賀会場では、全国から臨席した受賞者及び同伴者、お祝いに駆けつけた消防関係団体・消防関係機関の関係者らが一堂に会して懇親を深めました。

式 辞

本日ここに、令和元年度消防設備関係功労者等表彰式を挙行するにあたり、一言ご挨拶申し上げます。

まず初めに、先月の台風19号により、広い範囲で甚大な被害が発生し、多くの尊い命が失われました。亡くなられた方々のご冥福をお祈りするとともに、被災された方々に心よりお見舞い申し上げます。消防庁としましては、近年の激甚化する自然災害等に対し、国民の安心・安全を確保するため、引き続き全力で対応してまいります。

さて、この消防庁長官表彰は、永年にわたり、消防用設備等の適正な保守業務や、消防機器の技術開発・普及に貢献され、その功績が特に顕著であった

方々、高度な消防防災技術により防火対象物の防火安全性能の向上に資する消防用設備等に対して表彰を行うものです。

また、日本消防設備安全センター理事長表彰は、消防用設備等の維持管理の適正化や消防用設備等点検済表示制度の推進、また、地域の防災安全に資するもので、他の模範となる団体または個人に対して表彰を行うものです。

ここに至るまでの皆様方のご功績に対し、改めて深く敬意を表する次第です。

表彰を受けられます皆様方におかれましては、これまで培った経験と実績を活かし、今後とも、それぞれの分野において先導的な役割を担っていただきますとともに、国民生活の安心・安全の確保に一層のご尽力を賜りますようお願い申し上げます。

結びになりましたが、表彰を受けられます皆様方の今後益々のご発展と、ご参集の皆様方のご活躍、ご健勝を心から祈念申し上げ、式辞といたします。